

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2015年32週 (8月1週 8/3~8/9)

2015年7月報

愛知県感染症情報センター (愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

手足口病、ヘルパンギーナ、伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### 定点医療機関コメント

手足口病、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、溶血性レンサ球菌感染症等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(34)、腸管出血性大腸菌感染症(2)、レジオネラ

○「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

症(2)、アメーバ赤痢(1)、ウイルス性肝炎(1)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(3)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、後天性免疫不全症候群(8)、侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)

2015年7月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

## トピックス

### 手足口病(図1)【8月6日警報発令】

32週の定点当たり報告数は5.01、31週1,104人→32週911人(0.83倍)です。2015年に搬入され検査が終了した19検体より、CV(コクサッキーウイルス)-A6型が7件、CV-A16型が4件、CV-A10型が3件検出されています。

【参考ページ】手足口病警報を発令します!!(8月6日発表) <http://www.pref.aichi.jp/0000085567.html>

豊橋市:手足口病が流行しています(7月13日発表) <http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/28380.htm>

エンテロウイルス71型による手足口病に注意 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/hfmd2013.html>

疾患別ウイルス検出状況(速報) <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

### ヘルパンギーナ(図2)【7月23日警報発令】

32週の定点当たり報告数は2.78、31週783人→32週506人(0.65倍)です。

【参考ページ】ヘルパンギーナ警報を発令します!!(7月23日発表) <http://www.pref.aichi.jp/0000085188.html>

豊橋市:ヘルパンギーナが流行しています(7月21日発表) <http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/28730.htm>

ヘルパンギーナ <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/herpangina2015.htm>

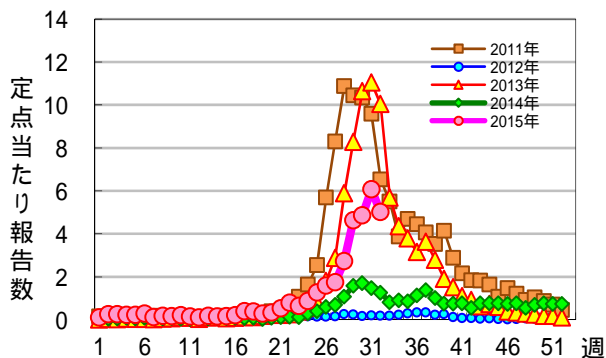


図1 手足口病

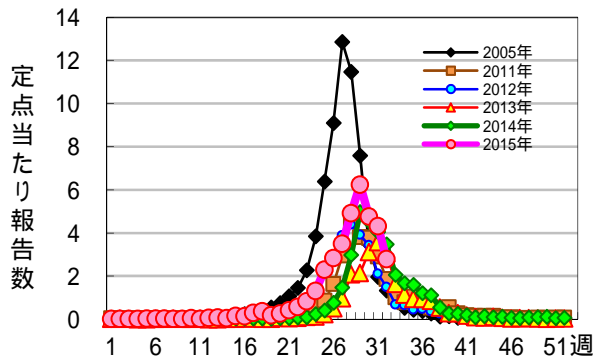


図2 ヘルパンギーナ

### 伝染性紅斑(図3)

伝染性紅斑はヒトパルボウイルスB19の感染による「リンゴ病」と呼ばれることもある疾患です。

32週の定点当たり報告数は0.46、31週129人→32週83人(0.64倍)です。

【参考ページ】豊橋市:伝染性紅斑が流行しています(6月15日発表) <http://www.city.toyohashi.lg.jp/item/24852.htm>

### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(図4)

32週の定点当たり報告数は1.21、31週289人→32週221人(0.76倍)です。

【参考ページ】A群溶血性レンサ球菌咽頭炎について [http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a\\_youren.html](http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/a_youren.html)

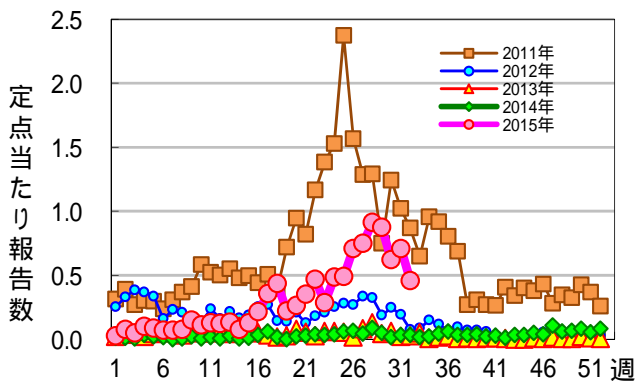


図3 伝染性紅斑

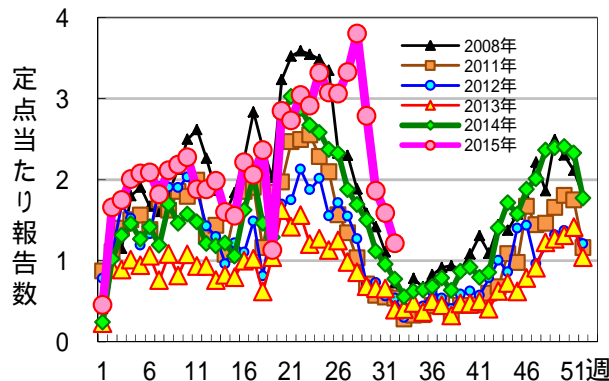


図4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

- 先週分から  
9歳男 カンピロバクター  
1歳男 サルモネラO4群  
【一宮市 あさのこどもクリニック】
- ヘルパンギーナ多発  
手足口病2種類あり  
CA6らしきもの増加  
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
- ヘルパンギーナが目立ちます。前腕、下腿に  
発疹を伴うものもあります。  
【犬山市 武内医院】
- 感染症胃腸炎、手足口病、伝染性紅斑、ヘル  
パンギーナの流行続いています。  
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
- 20歳男 カンピロバクター検出  
手足口病、ヘルパンギーナ続いて居ります。  
【清須市 丹羽医院】

### 尾張東部地区

- 手足口病とヘルパンギーナの流行が続いて  
います。（手足口病は発熱後に発疹が出現する  
症例が多くみられました。）  
溶連菌もまだみられます。  
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
- 手足口病がはやっています。  
【日進市 みやがわクリニック】
- 夏カゼは流行中です。  
入院ではロタが出ました。  
インフルエンザ 大人小人なし  
【春日井市 春日井市民病院】
- 13歳女 マイコプラズマ気管支炎  
溶連菌 65例  
手足口病 8例  
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
- 3か月の百日咳 1例  
感染性胃腸炎ではサルモネラ、カンピロバク  
ターなどが目立ちます。  
手足口病はまだ多いようです。  
【小牧市 志水こどもクリニック】
- 感染性胃腸炎が多いようです。  
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
- 手足口病散発  
【南知多町 医療法人大岩医院】
- 手足口病が小流行中です。  
【大府市 まえはらこどもクリニック】
- アデノウイルス感染症 2名  
手足口病、ヘルパンギーナは減ってきたよう  
です。  
【東海市 もしもしこどもクリニック】

### 西三河地区

- マイコプラズマ 4歳女  
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
- マイコプラズマ 12歳男  
【豊田市 わかぞの東洋クリニック】
- マイコプラズマ肺炎 6歳男 8歳男 8歳女  
病原性大腸菌O1(+) 1歳女  
手足口病大ブレイク中  
【岡崎市 花田こどもクリニック】
- マイコプラズマ肺炎 5歳女  
カンピロバクター 8歳女  
サルモネラ 12歳男  
病原性大腸菌 10歳女(O1、VT陰性)  
【幸田町 とみた小児科】

### 東三河地区

- 4歳女 カンピロバクター腸炎  
4歳男 サルモネラO4  
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
- 病原性大腸菌O1 0歳男  
病原性大腸菌O25 0歳女  
【豊川市 ささき小児科】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2015年8月12日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun150521.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2015年32週報告数			2015年総計(1～32週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	16	4	3	426	103	105
豊田市	2		1	40	10	13
豊橋市				41	7	16
岡崎市	1			26	9	1
一宮	1			64	23	14
瀬戸	6	1	5	104	16	57
半田				22	6	2
春日井	4	1	2	46	11	8
豊川				26	8	3
津島	1		1	65	11	22
西尾				19	6	3
江南				36	6	16
新城				10	2	5
知多				28	7	11
清須	1		1	24	10	5
衣浦東部	2	1	1	50	17	11
合計	34	7	14	1,027	252	292

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	瀬戸	43歳	男	7/26	7/30	8/3	○157、VT2(+)
2	春日井	49歳	女	-/-	8/3	8/5	○157、VT2(+)

**四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）**

**レジオネラ症（四類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	名古屋市	78歳	男	肺炎型	国内
2	豊田市	79歳	男	肺炎型	国内

**アメーバ赤痢（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	38歳	男	腸管アメーバ症	経口	タイ

**ウイルス性肝炎（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	予防接種歴	推定感染経路	推定感染地域
1	豊田市	35歳	女	B型	無	不明	国内

**カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	92歳	女	不明	国内	無
2	豊田市	79歳	女	医療器具関連感染	国内	無
3	一宮	77歳	女	以前からの保菌	国内	無

**クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	豊橋市	67歳	女	古典型

**後天性免疫不全症候群（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	35歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
2	名古屋市	52歳	男	AIDS	性的接触	国内
3	名古屋市	32歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内、台湾
4	名古屋市	43歳	男	AIDS	性的接触	国内
5	名古屋市	33歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
6	名古屋市	47歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
7	名古屋市	36歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
8	名古屋市	78歳	男	AIDS	性的接触	国内

**侵襲性インフルエンザ菌感染症（五類感染症）**

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	87歳	女	不明	国内

## 7月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況 [( )は無症状病原体保有者再掲]

2014～2015年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2015年7月			2015年	2014年
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	累計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (7)	結核	95 (23)	61 (9)	156 (32)	987 (273)	1,867 (531)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	1 (0)	0 (0)	1 (0)	5 (1)	10 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	8 (2)	3 (0)	11 (2)	50 (13)	132 (30)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
四類 (43)	E型肝炎	0	0	0	7	1
	A型肝炎	2	0	2	9	8
	コクシジオイデス症	0	0	0	1	0
	つつが虫病	0	0	0	0	2
	デング熱	0	0	0	5	11
	マラリア	0	1	1	1	1
	レジオネラ症	15	7	22	59	61
五類 (22)	アメーバ赤痢	3	5	8	39	68
	ウイルス性肝炎	3	0	3	11	13
	内訳					
	B型	2	0	2	8	12
	その他	1	0	1	3	1
	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症*	4	4	8	42	19
	急性脳炎	3	1	4	22	18
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	5	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	1	6	18
	後天性免疫不全症候群	1	0	1	55	98
	内訳					
	無症候性キャリア	0	0	0	35	65
	AIDS	1	0	1	18	32
	その他	0	0	0	2	1
	ジアルジア症	0	0	0	3	2
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	10	16
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	2
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	1	4	107	122
	水痘(入院例に限る。)*	0	1	1	9	10
	梅毒	2	3	5	39	113
	内訳					
	無症候	1	0	1	14	50
	早期顕症	1	3	4	20	57
	晩期顕症	0	0	0	5	6
	播種性クリプトコックス症*	0	0	0	7	2
	破傷風	0	0	0	4	4
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	1
	風しん	0	0	0	12	21
	麻しん	0	0	0	0	46
	総計	141	87	228	1,497	2,681

\* 2014年9月19日から、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症(全数把握対象疾患)に追加されました。また、五類感染症の「水痘(入院例に限る。)」及び「薬剤耐性アシネトバクター感染症」が全数把握対象疾患となりました。なお、五類感染症(定点)の「水痘」は、引続き小児科定点把握対象疾患です。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2015年7月			2015年累計		2014年総計			
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県全体	愛知県全体	愛知県全体	合計	合計		
				合計	合計				
性感染症定点	性器クラミジア感染症	男	37	45	82	490	854	900	1,591
		女	38	10	48	364		691	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	4	16	20	137	350	169	643
		女	18	11	29	213		474	
	尖圭コンジローマ	男	8	12	20	125	192	220	347
		女	6	3	9	67		127	
	淋菌感染症	男	14	31	45	267	301	577	657
		女	9	0	9	34		80	
基幹定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		66	17	83	565	1,090		
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		9	0	9	66	59		
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	4		
	薬剤耐性アシネトバクター感染症		-	-	-	-	0		

2014年9月19日から全数把握に変更

感染症法に基づく獣医師からの届出状況

感染症の名称及び動物の種類	2015年7月			2015年累計	2014年総計
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県全体	愛知県全体	愛知県全体
エキノコックス症の犬	0	0	0	0	1

感染症の類型及び定義(感染症法)

2015年5月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (43疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症** (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

\* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

\*\* 2014年9月19日に「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」及び「播種性クリプトコックス症」が五類感染症に追加されました。



